

徳島市水道事業管理者
水道局長 久米 好雄 殿

徳島大学名誉教授

工学博士 村上 仁士



徳島市重要給水施設配水管整備事業の事前評価について（報告）

このことについて、別記のとおり事業が適当であることを認めましたので、報告
します。

「徳島市重要給水施設配水管整備事業」に関する意見

平成21年7月

水道事業に関する意見書

事業名	徳島市重要給水施設配水管整備事業
施工場所	徳島市
評価区分	事前評価
着手(予定)年度 ～竣工年度	平成21年度～平成25年度
現状での課題	災害時に重要な拠点となる病院、診療所、介護や援助が必要な災害時要援護者の避難拠点など、給水優先度が特に高い施設への配水管を整備し、地震等による被害の軽減を図ること。
意見	徳島市上水道事業における本事業は、妥当であると判断できる。 事業に際しては、効率的かつ効果的な事業執行に努め、コスト削減を図ること。
徳島大学名誉教授 工学博士 村上 仁士	

徳島市重要給水施設配水管整備事業事前評価

<学識者による事前評価の記録>

と き：平成21年7月21日（火）

ところ：徳島水道局

1. 事前評価出席者

徳 島 大 学 名 誉 教 授 村 上 仁 士

徳島市水道局工務課 課 長 福成 照夫・課長補佐 松浦 喜昭

2. 事業内容について

資料に基づいて事業内容、事業の必要性、効率性、有効性、費用対効果の説明。

3. 質疑応答

問 ： 配水管整備についての現状と今後について。

答 ： 現在、第1次配水管整備事業や第2次配水管整備事業により、小口径管（φ75mm、100mm）を更新し耐震管への布設替えを実施、平成21年度、徳島市上水道老朽管更新事業を実施し、管路の耐震化を推進しています。

そして近い将来、高い確率で南海・東南海地震の発生が予測されることから、市民生活に支障をきたすことがないように、地域防災計画において、災害時に重要な拠点となる病院、診療所、介護や援助が必要な災害時要援護者の避難拠点など人命の安全確保を図るために、給水優先度が特に高い施設への配水管を整備し、地震等による被害の軽減を図ることを目的とする安心できる水道管路を構築することが今後の重要な課題となっています。

4. 事前評価の意見

徳島市上水道において本事業は、妥当であると認められる。

事業に際しては、効率的かつ効果的な事業執行に努め、コスト縮減を図ること。

意見書については、後日送付する。